

部 局	都市基盤部	補 職	部長	氏 名	野田 宏志
-----	-------	-----	----	-----	-------

1. 部局の使命

“選んでもらえるまち とよなか” の実現のために、次の4点について取り組みを進めます。 ・災害に強い都市基盤を構築し、安心・安全なまちづくりをめざします。 ・きめ細やかで持続可能な公共交通システムがあるまちづくりをめざします。 ・まちに出かけたくなるような道路景観や歩行空間を創出し魅力的なまちづくりをめざします。 ・誰もが歩きやすく自転車も走りやすい安全で快適なまちづくりをめざします。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
(1) 災害に強い都市基盤の構築【重点】 (2) 道路ストックの長寿命化とDXの推進 (3) 公共交通の利便性向上と次世代モビリティの共創【重点】 (4) 道路空間のリノベーションによる快適・賑わい・憩いの創出【重点】 (5) 子どもたちの安心・安全を守る道づくり【重点】 (6) 気軽に出かけたくなるようなバリアフリー化や自転車活用の推進 (7) 景観に配慮した道路・水路の維持管理 (8) エンゲージメントを高める人材戦略と組織づくり (9) 変革を通じて良好な住環境を創出	【今年度末に記載】

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	都市計画道路・広場整備の推進【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	①服部天神駅前広場整備事業 服部天神駅前で地域の特色を生かした快適な広場の整備事業を推進します。 ・整備工事 令和7年(2025年)1月～令和8年(2026年)年3月 （イベント実施によるパークレットの社会実験） ・令和8年3月開通式実施 ・用地取得のための公共施設管理者負担金の支出		
	②神崎刀根山線整備事業 安全で円滑な交通、密集市街地における防災空間と避難経路を確保するため道路拡幅整備に取り組みます。 ・用地買戻し2月 ・買収箇所の管理工事 11月～2月		
	③千里園熊野田線整備事業 東泉丘小学校付近280m区間の整備を推進するため、沿道権利者との協議・調整を実施します。 ・関係権利者協議 4月～3月		
	総合計画		
基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	交差点の渋滞対策の推進【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	①菰江交差点改良事業 神崎刀根山線の内、国道176号と交差する菰江交差点の改良工事と電線共同溝工事を実施します。 ・整備工事 令和7年(2025年)10月～令和10年(2028年)3月 ・電柱仮移設 4月～10月		
	②曾根島江線整備事業 曾根島江線の内、三国塚口線と交差する島江町交差点の改良工事と電線共同溝工事を実施します。 ・整備工事 令和7年(2025年)7月～令和9年(2027年)3月 ・三国塚口線道路整備事業(大阪府事業)との調整 兵庫県側との接続を含め、事業主体である大阪府と連携して協議を実施します。		
総合計画			
基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	歩行者の安全対策の推進【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	①北新田橋整備事業 社会状況による千里中央再整備事業のスケジュール見直しに伴い、歩路橋などの整備について、継続して関係機関との協議を実施します。 ・関係機関協議 4月～3月		
	②水路敷歩道化整備事業 上新田線に水路敷を活用した歩行空間を整備するにあたり、地元調整の結果、整備方法の再検討が必要となったことから、継続して地元調整を実施します。 ・地元調整 4月～3月		
	③新千里東町歩第8号線(こぼれび通り)整備事業 UR都市機構が実施する新千里東町団地の建替えにあわせて、新千里東町歩第8号線(こぼれび通り)の一体的な整備と、隣接する東側の3工区の設計業務をそれぞれ実施します。 ・整備工事(UR施工) 令和6年度(2024年度)～令和7年度(2025年度) ・電線共同溝予備設計(3工区) 6月～3月		
総合計画			
基本政策			
17	施設の耐震化	26	強靱なまちづくりの推進
33	快適な移動空間の充実		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	無電柱化の推進【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	①「無電柱化推進計画」に基づき事業を推進します。 ・令和7年度（2025年度）に次期無電柱化推進計画を策定します。 4月～3月（1月パブコメ 2月成案化）		
	②曾根島江線（再掲） ・整備工事 令和7年(2025年)7月～令和9年(2027年)2月		
	③菰江交差点（再掲） ・整備工事 令和7年(2025年)10月～令和10年(2028年)2月		
	④服部天神駅前広場（再掲） ・整備工事 令和7年(2025年)1月～令和8年(2026年)3月		
	⑤新千里東町歩第8号線(こぼれび通り)（再掲） ・電線共同溝予備設計（3工区） 6月～3月		
総合計画			
基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進	28	服部天神駅前広場の整備
33	快適な移動空間の充実		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	橋梁の長寿命化とDXの推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	①橋梁長寿命化修繕計画策定 道路橋、千里地区歩路橋、人道橋における修繕計画においてⅢ判定の早期に修繕すべき橋梁が概ね解消されたことを契機に、計画を統合します ・計画策定：令和7年(2025年)6月～令和10年(2028年)3月		
	②DXの推進〔新規〕 ・点検：ロボットカメラ、AI橋梁診断支援システムの検討 ・工事：3D測量、重機の自動運転、遠隔操作の調査・研究		
	③ドローンの活用 ・河川内工作物（橋梁）の占用手続きにおける消防用ドローンの活用		
	④橋梁の計画的修繕 「道路橋長寿命化修繕計画」に基づき、改修工事等を実施します。 ・若竹橋外：改修工事 令和7年(2025年)7月～令和9年(2027年)3月 ・下高川高架橋：改修工事 6月～2月 「千里地区歩路橋長寿命化修繕計画」に基づき、改修設計を実施します。 ・もみじ橋：改修設計 6月～2月		
総合計画			
基本政策			
17	施設の耐震化	26	強靱なまちづくりの推進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	道路附属物の長寿命化の推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	①横断歩道橋の計画的修繕 「横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づき、定期点検を実施します。 横断歩道橋（4回目/13橋） ・計画策定・点検 令和7年(2025年)6月～令和10年(2028年)年3月 （橋梁長寿命化事業とまとめて委託を実施）		
	②幹線道路舗装の計画的修繕 「舗装修繕計画」に基づき、修繕工事を実施します。 ・主要道路舗装事業：舗装工事 6月～3月 ・神崎刀根山線舗装事業：舗装工事 9月～3月 ・生活道路舗装事業：舗装工事 4月～3月		
総合計画			
基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	公共交通の利便性向上【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	①北部地域への交通支援〔新規〕 市民との意見交換を通して、需要に応じたルート、ダイヤ、運行方法などを検討します。 ・意見交換会 5月～ ・交通支援運行開始 令和8年(2026年)4月～		
	②乗合タクシー〔拡充〕 市民との意見交換を通して事業の見直しを実施するとともに、WEB予約システムを開発します。 ・意見交換会 4月～3月 ・運行改善 令和8年(2026年)4月 ・WEB予約システムの開発 4月～3月		
総合計画			
基本政策			
30	東西軸（緑地公園駅周辺～曽根駅周辺～大阪国際空港周辺）の活性化	33	快適な移動空間の充実

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
8	持続可能な公共交通の推進【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】	
	①自動運転EVバスの実証実験〔新規〕 バス運転者不足対策の一つとして、自動運転EVバスの実証実験を行います。 ・コンソーシアム（企業等との連携協定締結）を構成 7月 ・自動運転EVバスによる実証実験 11月～			
	②豊中東西線バス〔拡充〕 利用状況や今後の東西軸活性化に伴う需要に対応できるよう検討します。 ・大型バスの運行開始（4月～）			
	③路線バス運転士不足への対応 ・ハローワークや大阪府、近隣市と連携し、就職セミナーを開催します。			
	④公共交通マップと路線バスお試し乗車券の配布 ・転入者と免許返納者向けに行います。			
	⑤緑地公園駅前タクシー乗場の整備〔新規〕 ・東西線バスのバス停向かい側に2台分のスペースを確保します。（3月）			
	総合計画			
基本政策				
26	強靱なまちづくりの推進	27	千里中央地区の整備	
33	快適な移動空間の充実			

当年度目標(当初設定)		実績		
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
9	快適・賑わい・憩い空間の創出【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】	
	(1) 憩い空間整備事業〔新規〕 ①誰もが憩える歩行空間の創出に向けた基本計画を策定します。 ・基本計画の策定 8月～3月 ②道路空間の利活用を進めます。 ・曽根駅周辺等東西軸や地域活性化に資するイベントスペースとして積極的に道路空間の利活用を進めます。 ・庄内駅前広場の利活用について官民連携による協議を進めます。 ③開発協議において民地内歩道、公園、緑地及びオープンスペースなどにベンチ等を設置するよう事業者と協議を行い、官民連携による憩い空間の創出に努めます。 ④憩い空間整備事業における財源確保 ・スポンサー制度や寄附制度等の手法を活用し財源確保に努めます。			
	(2) 神崎川駅周辺整備 関係部局との協議・調整 4月～3月			
	(3) 大阪音楽大学周辺整備事業 音楽を楽しむことを取り入れた道路の整備事業が令和6年度末で完了したため事業の効果検証を実施します。 ・効果検証 6月～3月			
	(4) 服部天神駅前広場整備事業（再掲） 地域の特色を生かした快適な広場の整備事業を推進します。 ・用地取得のための公共施設管理者負担金の支出 ・整備工事 令和7年（2025年）1月から令和8年（2026年）3月（イベント実施によるパークレットの社会実験） ・令和8年3月開通式実施			
	(5) ホタルの夕べ〔拡充〕 ・毎年3日間9,000人を集めるイベントを、今年度から完全予約制、企業の協賛もいただきながら進めます。（6月6日～8日 新豊島川蛍の里）			
	総合計画			
	3-3- (1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます			3-3- (3) 安全・安心な交通体系を整備します
	基本政策			
	17 施設の耐震化			26 強靱なまちづくりの推進
	28 服部天神駅前広場の整備			33 快適な移動空間の充実

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
10	安心送迎ルートと通学路の交通安全対策【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) こどもの安心送迎ルート整備事業〔新規〕 子育て施設への送迎ルートにおいて、歩行者・自転車の安全で快適な通行空間を確保します。また、走行する車両に対して送迎ルートの表示と注意喚起を促します。 ①北緑丘こども園の設計、11こども園の交通量調査、計画方針策定 6月～3月 ②北緑丘こども園 バリアフリーチェックシステム実施 9月～10月		
	(2) 通学路交通安全プログラム 「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路と未就学児の移動経路において、関係機関と連携した安全対策を実施します。 ①第5次プログラムの策定（北部、東部エリアの小学校（市域3分割）、未就学施設）4月～3月 ②第4次プログラムの対策実施 4月～3月 ・交差点のカラー化、照明灯設置等 ③庄内よつば学園の対策実施 4月～3月 ・庄内南1号線改良整備工事 6月～2月 ・神崎刀根山線（よつば学園前）の負担金による工事 3月 ・阪急西側南線（5-1工区）改良整備工事 8月～2月 ④通学路交通安全推進協議会 2月		
総合計画			
3-3-	(2) 安全・安心なまちづくりを進めます		
基本政策			
33	快適な移動空間の充実		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
11	バリアフリー化の推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 歩道改良整備事業 「歩道改良実施計画」に基づく改良事業を推進します。		
	① 庄内南1号線 ・改良整備工事 6月～2月		
	② 寺内第23号線・豊中柴原線 ・改良整備工事 8月～2月		
	③ 北桜塚大塚公園線・北条豊南線・阪急西側南線（5-1工区） ・改良整備工事 8月～2月		
	④ 神崎刀根山線（よつば学園前） ・負担金による工事 3月		
	⑤ 阪急西側南線（5-2工区） ・詳細設計 6月～3月		
総合計画			
3-3-	(2) 安全・安心なみちづくりを進めます		
基本政策			
33	快適な移動空間の充実		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
11	バリアフリー化の推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(2)バリアフリー化推進事業 多様な個性の人々が社会的障壁を感じることなく気軽にかけられる共生社会のまちづくりのため、「バリアフリーマスタープラン」に基づく事業を推進します。 ①バリアフリーマップ 公表・配布 ・豊中駅、蛍池・大阪空港駅、曾根・服部天神駅、緑地公園駅、千里中央駅、少路駅、柴原阪大前駅、庄内駅の8地区 5月 ②生活関連経路整備計画策定（千里中央駅、少路駅、柴原阪大前駅、庄内駅の4地区）4月～3月 官公庁や病院・福祉関係施設等、不特定多数の方が利用する施設間をバリアフリーで結ぶ計画を策定します。 ③野畑中央線整備事業（緑丘3丁目） 電柱撤去、側溝蓋掛けにより歩行空間を確保します。 ・宅地内引込柱調査設計 4月～3月		
	(3)こどもの安心送迎ルート整備事業（再掲） 子育て施設への送迎ルートにおいて、歩行者・自転車の安全で快適な通行空間を確保します。また、走行する車両に対して送迎ルートの表示と注意喚起を促します。 ①北緑丘こども園の設計、11こども園の交通量調査、計画方針策定 6月～3月 ②北緑丘こども園 バリアフリーチェックシステム実施 9月～10月		
	(4)子育てバリアフリーの推進 ・こども・子育て世代が利用する施設・公園を対象に事業着手前の計画段階から当事者意見を聞き取り、反映していくことでバリアフリー化を推進します。 バリアフリー化検討会 ma-zika（一部開園：8月） 子育て支援施設（こどもの安心送迎ルート）		
	総合計画		
3-3- (2)	安全・安心なまちづくりを進めます		
基本政策			
33	快適な移動空間の充実		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
12	自転車活用の推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 自転車活用推進計画の改訂〔拡充〕 10月 素案策定 12～1月 パブリックコメント 3月 計画策定		
	(2) 自転車のルールマナーを中心とした交通安全啓発〔拡充〕 自転車の青切符制度施行を見据え、交通安全教室や街頭啓発に加え、特に高校生と20～50歳代の市民に向けた交通安全教育を強化します。 ・自転車の青切符制度導入に向けた交通ルール・マナー啓発 4月～3月 ・電動キックボードや新基準原付など新たな移動モビリティの安全啓発 4月～3月		
	(3) シェアサイクル事業 ①ポートの増設 20か所 4月～3月 ②散走の推進 ・市民向けの案内の作成・配付 4月～3月 ③自転車利用推進イベントの実施 10月 ④近隣市と連携した散走イベントの検討 ・尼崎市と協働した「あまとよ桜散走デジタルマップ」の公開(4月)		
総合計画			
3-3-	(2) 安全・安心なまちづくりを進めます		
基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実
34	ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)	実績			
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性		
12	自転車活用の推進	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】		
	(4) 自転車通行空間整備事業 「自転車ネットワーク計画」に基づき、整備事業を推進します。 ①勝部寺内線 ・整備工事 9月～2月 ②原田伊丹線 ・整備工事 9月～2月 ③平塚熊野田線 ・整備工事 9月～2月 ④曾根箕面線 ・整備工事 9月～2月 ⑤自転車通行空間整備詳細設計 ・詳細設計(神崎刀根山線外4路線) 6月～3月				
	(5) 自転車駐輪場の整備・管理 ①緑地公園駅周辺 ・放置禁止区域拡大 (4月) ・服部緑地東中央広場 (300台) での駐輪場整備 (7月) ・高川河川敷 (50台) への駐輪場整備 (3月) ②桃山台駅周辺 ・駐輪場の拡張 (3月) ③千里中央再整備後の駐輪場の設置位置等の検討 ④利便性の向上 ・WEBにて定期更新ができるシステム導入など ⑤長期保全計画の策定				
	総合計画				
	3-3- (2) 安全・安心なまちづくりを進めます				
	基本政策				
	26 強靱なまちづくりの推進			33	快適な移動空間の充実
	34 ゼロカーボンシティの実現				

当年度目標(当初設定)		実績		
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
13	道路・水路の維持管理	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】	
	(1) 日常的な維持修繕 道路パトロールや市民からの通報を基に優先順位を付けたうえで、総 価契約、単価契約、緊急修繕を組み合わせながら、迅速かつ適切に対応 します。			
	①維持補修事業 ・道路構造物補修工事(単価契約) 4月～3月			
	②一般交通安全施設整備事業 ・市内一円安全施設整備工事 6月～3月			
	③路面標示設置事業 ・区画線設置工事(単価契約) 5月～3月 ・市内一円幹線道路区画線更新工事 7月～3月			
	(2) 路面下空洞調査事業 路面下空洞調査については、下水道部局と連携を図り、継続して事業 に取り組みます。			
	・路面下空洞調査委託 平成26年度（2014年度） 調査路線（車道）3回 目） 10月～3月			
	(3) 道路照明LED更新事業〔新規〕 平成26年度（2014年度）から平成28年度（2016年度）にかけてLED化した 道路照明施設が令和7年度から順次更新時期を迎えるため、道路照明灯は リース、防犯灯は買取りで更新します。			
	・令和7年度豊中市LED道路照明灯賃貸借契約（令和7年度（2025年度）～ 令和17年度（2035年度））			
	・LED道路照明（防犯灯）更新工事 7月～3月			
	総合計画			
	3-3- (2) 安全・安心なまちづくりを進めます			
	基本政策			
26 強靱なまちづくりの推進				

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
13	道路・水路の維持管理	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(4)街路樹更新事業 「街路樹維持管理方針」に基づき、植替え等を行います。 市内一円街路樹植替工事（約40本） 11月～3月 (5)街路樹管理及び市内一円道路除草業務 安全な通行を確保するため街路樹の適切な維持管理を進め道路の景観を向上させるほか、歩道や車道端部の除草を定期的の実施します。（市内一円（1～3回／年） 4月～3月） 市有施設管理者へ周辺道路の除草について協力を求めるとともに公園と道路が隣接する箇所については、街路樹の剪定や除草の時期を合わせるよう調整します。 (6)タブレットなどの新技術の活用〔拡充〕 タブレットなどの新技術を活用した点検手法を積極的に採用し、迅速・正確な点検とコスト縮減を進めます。 ・街路樹植栽柵点検 10月～12月 ・幹線道路集水柵蓋点検調査 10月～12月 (7)道路パトロールの充実〔拡充〕 ①「気づいた不具合箇所は必ず通報」をスローガンに以下の取り組みを進めます。 ・道路・水路管理瑕疵研修の実施（対象：新規配属職員） ・「通報基準がわかる動画」の作成と周知（対象：全庁職員） ・通報強化にむけた通報アプリの普及促進。 ②無許可占用物の撤去指導を図るため、警察との連携について協議を進めます。 (8)災害対応業務への備え 万一の災害に備え連携体制の深化を図ります。 ・部内災害対応マニュアルの見直しを行い、当部全職員への周知を図ります。 ・リスクロを活用した部内防災訓練を実施します。		
総合計画			
3-3- (2)	安全・安心なまちづくりを進めます	5-2- (2)	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
14	人材戦略	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1)選んでもらえるまち を実現する職員の育成 ～KKD（経験・勘・度胸）を深めます。 ①幅広い知識と様々な経験を積むため部内外の積極的な異動を行います。 ②市民の声を把握し本市のより良い施策展開につなげます。 ③OJT、各研修への積極的な参加、多様な現場経験、資格取得などにより技術力の向上を図ります。 ④文章能力・説明能力・コミュニケーション能力を向上を図ります。 ・プレゼンの機会と職員同志のフィードバック。（課内ミーティングでの3分間スピーチ実践） ⑤付加価値を創る職員を育成します。 ・職務状況報告書において、職務目標に付加価値のある仕事を各職員1件は掲げます。		
総合計画			
5-1- (2)	市民が参画できる機会の充実を図ります	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます
基本政策			
61	対話と発信による共感・共創づくり	65	職員力を高める人材育成等の推進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
15	組織づくり	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1)選んでもらえるまち　を実現する組織づくり ～“ここで働きたい”を迫及する ①職員同士のコミュニケーションを強化します。 ・部・課のマネジメントや方針をトップダウンで発信 ・関係課担当職員でチームを組み、プロジェクトを推進 ②上司が傾聴し、部下が提案する環境を創ります。 ・ボトムアップから発信する事業の推進 ③風通しを良くし、明るく積極的に仕事に取り組みます ・定期的な部内・課内ミーティングの実施 ・部下によるプレゼン機会の増と上司による明確なレビュー ④各業務の意義を共有します。 ・部内勉強会を実施します。 ・課内若手職員による「他係職場体験」を実施します。 ⑤ワークライフバランス(時間外勤務の縮減と休暇の積極的な取得) ・年間休暇取得日数12日以上、時間外勤務330時間以内を最低ラインとします。		
総合計画			
5-1- (2)	市民が参画できる機会の充実を図ります	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます
基本政策			
61	対話と発信による共感・共創づくり	65	職員力を高める人材育成等の推進

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
16	変革への取組み〔新規〕	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	2025経営戦略方針に掲げる3つのプロジェクトや未来への投資を戦略的に実行するため変革を通して財源の確保や新たな価値創造に取り組めます。 （１）歳入の拡大 ①道路施設のネーミングライツ事業を実施しまちづくりの協働を進めます。（高川歩道橋 7月契約予定） ②東西バスの大型化によりma-zikaへの来園者や中高生の利用者増により財源を確保します。 ③憩い空間整備事業において、スポンサー制度や寄附制度等の手法を活用し、財源確保を進めます。		
	（２）民間資源の活用 ①自動運転先進都市をめざし、次世代モビリティ導入に向けた民間事業者との連携・協働を積極的に進めるとともに持続可能な公共交通、環境負荷の低減、交通事故の減少をめざします。 EVバスによる「自動運転レベル4」をめざした実証実験 ・「自動運転レベル2」実証実験/千里ニュータウン地区：令和7年（2025年）3月 ・コンソーシアム（連携協定締結）を構成 4月 ・国庫補助金申請 4月～5月 ・「自動運転レベル2」実証実験 11月～3月 ②企業、商店街や自治会などと連携し地域の賑わいを創出します。（あしあーと、はっとりエンナーレ等の開催）		
	（３）DXの推進 ①乗合タクシーの利用拡大 子育て世代も含めた全ての市民の方がより便利に乗合タクシーを利用できるよう、新たにWEB予約システムを導入し利用者数の拡大をめざします。 ②次世代モビリティ導入に向けた実証（再掲）		
	総合計画		
3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます	3-3- (2)	安全・安心なまちづくりを進めます
3-3- (3)	安全・安心な交通体系を整備します	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます
基本政策			
30	東西軸（緑地公園駅周辺～曽根駅周辺～大阪国際空港周辺）の活性化	33	快適な移動空間の充実

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
16	変革への取組み		【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	（４）事務のアップデート ①子育てバリアフリーの推進 ・こども・子育て世代が利用する施設・公園を対象に事業着手前の計画段階から当事者意見を聞き取り、反映していくことでバリアフリー化を推進します。バリアフリー化検討会 ma-zika（一部開園：8月）子育て支援施設（こどもの安心送迎ルート） （５）未来の変革 部内でPTを立ち上げ変革への取組みを検討します。 ①未来の公共交通と道路環境づくり レベル4自動運転の普及に備え、安全性・利便性の向上に資する道路空間整備や移動支援の検討を行う。 ②人中心のみちづくり ・トランジットモール導入など 自動車の乗り入れを規制し、歩行者と公共交通のみが通行する道路システムの導入により歩行者の安全性確保と賑わいの創出を目指す。			
総合計画				
	3-3-（2）	安全・安心なみちづくりを進めます	3-3-（3）	安全・安心な交通体系を整備します
	5-2-（1）	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	5-2-（2）	デジタル技術を活用した便利で快適なまちづくりを進めます
基本政策				
	30	東西軸（緑地公園駅周辺～曽根駅周辺～大阪国際空港周辺）の活性化	61	対話と発信による共感・共創づくり
	65	職員力を高める人材育成等の推進		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール(工程)	
1	災害に強い都市整備の構築【重点】 (1)都市計画道路の整備 ①服部天神駅前広場整備事業：服部天神駅前広場の新設整備により、信頼性が高く、便利な暮らしを支える道づくりを推進します。 ②曽根島江線整備事業：島江町交差点の拡幅整備により、密集市街地の防災性向上とともに信頼性が高く、便利な暮らしを支える道づくり推進します。 ③神崎刀根山線整備事業：神崎刀根山線の拡幅整備により、密集市街地の防災性向上とともに信頼性が高く、便利な暮らしを支える道づくり推進します。 ④千里園熊野田線整備事業：千里園熊野田線の新設整備により、信頼性が高く、便利な暮らしを支える道づくりを推進します。			(1)都市計画道路の整備 ①服部天神駅前広場整備事業 令和6年度(2024年度)～令和7年度(2025年度) 電線共同溝整備工事、駅前広場整備工事 ②曽根島江線整備事業 令和7年度(2025年度)～令和8年度(2026年度) 電線共同溝整備工事、道路拡幅整備工事 ③神崎刀根山線整備事業 令和7年度(2025年度)以降 関係機関協議、設計、電線共同溝整備工事、道路改良工事 ④千里園熊野田線整備事業 令和7年度(2025年度)以降 関係権利者協議、事業認可、用地買収、設計、道路新設整備工事	
	総合計画				
	3-3-	(2)	安全・安心なまちづくりを進めます		
基本政策					
	26	強靱なまちづくりの推進		33	快適な移動空間の充実
1	災害に強い都市整備の構築【重点】 (2)菰江交差点改良事業 菰江交差点の改良整備により、信頼性が高く、便利な暮らしを支える道づくりを推進します。 (3)北新田橋整備事業 北新田橋歩路橋の新設整備により、安全・安心な道路環境整備の実現を推進します。 (4)水路敷歩道化整備事業 水路敷を活用した歩行空間の新設整備により、安全・安心な道路環境整備の実現を推進します。 (5)新千里東町歩第8号線(こぼれび通り)整備事業 歩路の改良整備により、信頼性が高く、便利な暮らしを支える道づくりを推進します。			(2)菰江交差点改良事業 令和7年度(2025年度)～令和9年度(2027年度) 電線共同溝整備工事、交差点改良工事 (3)北新田橋整備事業 令和8年度(2026年度)以降 関係機関協議、国費事業計画、歩路橋架設工事 (4)水路敷歩道化備事業(上新田線) 令和7年度(2025年度)以降 関係者協議 (5)新千里東町歩第8号線(こぼれび通り)整備事業 令和6年度(2024年度)～令和7年度(2025年度)歩路整備工事(U R施工) 令和7年度(2025年度)以降 関係機関協議、設計、電線共同溝整備工事	
	総合計画				
	3-3-	(2)	安全・安心なまちづくりを進めます		
基本政策					
	26	強靱なまちづくりの推進		33	快適な移動空間の充実

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	災害に強い都市整備の構築【重点】 (6)無電柱化の推進 道路の無電柱化整備により、信頼性が高い道づくりと、安全・安心な道路環境整備の実現を推進します。		(6)無電柱化の推進 令和7年度(2025年度) 次期無電柱化推進計画を策定 ①曾根島江線 令和7年度(2025年度)～令和8年度(2026年度) 電線共同溝整備工事、道路拡幅整備工事 ②菰江交差点 令和7年度(2025年度)～令和9年度(2027年度) 電線共同溝整備工事、交差点改良工事 ③服部駅利倉線(服部天神駅前広場) 令和6年度(2024年度)～令和7年度(2025年度) 電線共同溝整備工事、駅前広場整備工事 ④新千里東町歩第8号線(こぼれび通り) 令和7年度(2025年度)以降 関係機関協議、設計、電線共同溝整備工事(再掲)	
	総合計画			
	3-3- (2)	安全・安心なまちづくりを進めます		
	基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実	
2	道路ストックの長寿命化 (1)橋梁長寿命化事業 予防保全型の改修、修繕により、橋梁等の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を推進します。 (2)横断歩道橋長寿命化事業 予防保全型の改修、修繕により、横断歩道橋の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を推進します		(1)橋梁長寿命化事業(継続して実施) 令和7年度(2025年度)～令和8年度(2026年度)：若竹橋外の改修工事 令和7年度(2025年度)：下高川高架橋改修工事、もみじ橋改修設計 令和7年度(2025年度)～令和9年度(2027年度)：点検調査、橋梁長寿命化計画策定、令和11年度(2029年度)以降、5年毎に定期点検調査で見直す「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき事業を実施 (2)横断歩道橋長寿命化事業(継続し実施) 令和7年度(2025年度)：点検調査、横断歩道橋長寿命化計画策定 令和8年度(2027年度)以降、5年毎に定期点検調査で見直す「横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づき工事を実施。	
	総合計画			
	3-3- (2)	安全・安心なまちづくりを進めます		
	基本政策			
17	施設の耐震化	26	強靱なまちづくりの推進	
33	快適な移動空間の充実			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール(工程)	
3	快適・賑わい・憩いの創出【重点】 (1) 千里中央駅前広場再整備検討(再掲) 駅前広場の改良整備により、親しみあふれ活力ある道づくりを推進します。 (2) 神崎川駅周辺整備 駅周辺の改良整備により、親しみあふれ活力ある道づくりを推進します。 (3) 憩い空間整備事業 誰もが憩える歩行空間の創出に向けた基本計画を策定し、ベンチやパークレットを設置します。			(1) 千里中央駅前広場再整備検討 令和7年度(2025年度)以降 関係者協議 (2) 神崎川駅周辺整備 令和7年度(2025年度)以降 関係者協議 (3) 憩い空間整備事業 令和7年度(2025年度) 基本計画策定 ベンチ、パークレット設置 令和8年度(2026年度)～令和10年度(2028年度) ベンチ、パークレット設置	
	総合計画				
	3-3- (2)	安全・安心なまちづくりを進めます			
基本政策					
	26	強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実	
4	バリアフリー化の推進 (1) 歩道改良整備事業 歩道の改良整備により、安全・安心な道路環境整備の実現を推進します。 (2) バリアフリー化推進事業 計画的にハード・ソフトの一体的なバリアフリー化の取り組みにより、地域共生社会の実現、社会的障壁の除却を推進します。			(1) 歩道改良整備事業(継続して実施) 令和7年度(2025年度) 庄内南1号線外の改良工事、令和8年度(2026年度) 阪急西側南線外の改良工事 (2) バリアフリー化推進事業(継続して実施) ①バリアフリーマップ(9地区)の作成 ②生活関連経路の整備 令和7年度(2025年度) 整備計画策定：4地区、令和8年度(2026年度) 詳細設計：5地区、令和9年度(2027年度)以降 詳細設計：4地区 改良工事：9地区 ③野畑中央線整備事業 令和7年度(2025年度) 宅内師匠物移設調査設計、令和8年度(2024年度)以降 移設設計、工事、令和9年度(2025年度)以降 歩道設計、工事	
	総合計画				
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます			
基本政策					
	26	強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
5	自転車活用の推進 (1) 自転車通行空間整備事業 安全・安心な道路環境の実現、脱炭素社会の実現、人や環境にやさしい道づくりを推進 (2) 交通安全啓発 ・自転車ヘルメット着用推進、青切符制度導入、特定小型原付に向けた交通ルールやマナー、安全利用啓発、交通安全教室や街頭啓発の実施（通年） (3) 自転車活用推進計画 ・シェアサイクル事業推進 ポート20箇所増設します。（通年） ・散走の推進のため市民向けの案内を配付、スタンプラリーなど散走イベントの実施、尼崎と連携したデジタルマップ作成に取り組みます。（通年） ・自転車利用者に関するデータ分析やWEBアンケートを実施します。（通年）		(1) 自転車通行空間整備事業(継続して実施) 令和7年度(2025年度) 整備工事：勝部寺内線外4線 令和8年度(2026年度) 整備工事：岡町熊野田線外3線 令和9年度(2027年度) 整備工事：曽根服部緑地線外4線 (2) 交通安全啓発 ・自転車活用推進計画に、ヘルメット着用率、自転車ルールマナーなどの指標設定 ・A I スピーカーなど新技術を活用した、効果的な街頭啓発の研究 (3) 自転車活用推進計画 ・事業の採算確保と、シェアサイクルポート用地の有料化の検討	
	総合計画			
	3-3- (2)	安全・安心なみちづくりを進めます		
	基本政策			
26	強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実	
34	ゼロカーボンシティの実現			
6	公共交通の利便性向上と次世代モビリティの共創【重点】 (1) 自動運転EVバスによる実証実験〔新規〕 (2) 豊中東西線バス〔拡充〕 ・大型バスで運行するとともに、豊中つばさ公園『ma-zika』の開設とあわせて停留所名を変更します。 (3) 乗合タクシー〔拡充〕 ・市民と意見交換を行いながら運行内容の見直しを実施します。（運行改善 令和8年(2026年)4月） (4) 公共交通改善計画〔拡充〕 ・交通支援検討地域（北部、北東部地域）において、地元意見交換会を実施するとともに、試乗会を開催します。 ・路線バス運転士等確保の取り組みを検討します。（通年） ・新たな交通支援の調査・研究をすすめます。（通年）		(1) 自動運転EVバスによる実証実験 ・公共交通としての有効性検証 (2) 豊中東西線バス ・利用者の増により、令和2年度（2020年度）以前（3,500万円）へ負担減を図る。 (3) 乗合タクシー ・交通支援検討地域への、初期の交通モードとして乗合タクシーを位置づける (4) 公共交通改善計画〔拡充〕 ・交通支援検討地域への新たな支援検討	
	総合計画			
	3-3- (2)	安全・安心なみちづくりを進めます		
	基本政策			
27	千里中央地区の整備	30	東西軸（緑地公園駅周辺～曽根駅周辺～大阪国際空港周辺）の活性化	
33	快適な移動空間の充実			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
7	子どもたちの安心安全を守る道づくり【重点】		(1) 通学路交通安全プログラム ・既存校は、全域3分割にし、毎年度、点検調査～プログラム策定～対策工事 ・新設校、通学路が新しく設置される場合は、2年度前に仮通学路を設定し、プログラム策定する。また開校後1年経過した後、再度、点検調査を行う。	
	(1)通学路交通安全プログラム【重点】 ・第4次プログラムや庄内よつば学園通学路安全対策、第5次プログラム策定に向け警察、教育委員会、関係機関と連携し点検・安全対策実施（通年）		(2)交通安全教室 ・未就学児施設、小・中・高等学校、地域団体への教室実施、中・高校生の青切符制度への教室の強化検討	
	(2)交通安全教室 ・未就学児施設、小・中・高等学校、地域団体への教室実施、中・高校生の青切符制度への教室の強化検討		(3)交通安全教室・交通安全啓発 ・年代別に交通安全啓発の取り組みを継続 ・電動キックボードや新基準原付など、新たなモビリティにあわせてた啓発を実施	
	(3)対象年齢にあわせた啓発 ・市内販売店と協働した地域自転車交通安全教室、年齢別啓発イベント、市内企業への自転車ヘルメット着用や交通安全、デジタル技術を活用した研究		(4)令和7年度(2025年度)整備計画・方針策定、令和8年度(2026年度)モデル地区の送迎ルート整備、令和12年度(2030年度)までにモデル地区を含め12園周辺の送迎ルート整備完了	
	(4)こどもの安心送迎ルート整備事業 ・子育て施設への送迎ルート整備計画・方針を策定（12こども園周辺整備実施）			
総合計画				
	3-3- (2) 安全・安心なまちづくりを進めます			
基本政策				
	26 強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実	
8	道路・水路の維持管理		(1) 日常的な維持修繕(継続して実施)	
	(1) 日常的な維持管理 ・道路パトロールや市民からの通報を基に優先順位をつけ、総価契約、単価契約、修繕等を組み合わせながら継続して実施します。		(2) 路面下空洞調査事業 ・令和8年度(2026年度) 空洞調査(車道3回目／H28年度実施箇所)	
	(2) 路面下空洞調査事業 ・下水道部局と連携を図り、継続して事業を実施します。		・令和9年度(2027年度) 空洞調査(歩道3回目／H26年度実施箇所)	
	(3) 道路ストック点検調査 ・第三者被害を防止するため、継続して実施します。		・令和10年度(2028年度) 空洞調査(歩道3回目／H28年度実施箇所)	
			(3) 道路ストック点検調査 ・道路土工構造物（法面・擁壁）点検／3回目 ・令和8年度（2026年度） ・道路反射鏡点検／2回目 ・令和9年度（2027年度） ・小型標識点検／3回目 ・令和10年度（2028年度） ・道路照明灯中間点検 ・令和10年度（2028年度）	
総合計画				
基本政策				
	26 強靱なまちづくりの推進	33	快適な移動空間の充実	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
9	人材戦略		(1)職務経験に裏打ちされた調整力・想像力を兼ね備える職員の育成	
	1)選んでもらえるまち　を実現する職員の育成 ～KKD（経験・勘・度胸）を深める ①OJT、各研修への積極的な参加、専門書熟読、現場経験、資格取得による技術力の向上を図ります。 ②職員自らが国・府の制度や民間などの動向にアンテナを広げ、本市の施策展開への適用を進めます。 ③文章能力・説明能力・コミュニケーション能力を向上させます。 ・プレゼンの機会と職員同志のフィードバック。(課内ミーティングでの3分間スピーチ 実践) ・一定のテーマの研修について、部内で発表の場を設けます。 ④部課を超えた取り組みを3案件以上創出し、様々な職務経験を積み上げ、信頼関係を構築します。			
	総合計画			
	基本政策			
	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進	65	職員力を高める人材育成等の推進
10	組織づくり		(1)働く場所として選ばれる、豊中市都市基盤部の職場のグレードアップ	
	(1)選んでもらえるまちを実現する組織づくり～”ここで働きたい”を追及する ①職員同士のコミュニケーションを強化します。 ②上司の傾聴、相談がしやすい環境をつくれます。 ③風通しを良くし明るく積極的に仕事に取り組みます。 ④各業務の意義を共有します。 ⑤ワークライフバランス(時間外勤務の縮減と休暇の積極的な取得)年間休暇取得日数12日以上、時間外勤務330時間以内を最低ラインとします。 ⑥他部局との連携調整を図ります。 ⑦個人の研修内容を組織内にフィードバック・情報共有します。			
	総合計画			
	基本政策			
	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進	65	職員力を高める人材育成等の推進

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール(工程)		
11	変革への取組み			(1)歳入の確保		
	(1)歳入の確保 ①道路施設のネーミングライツ ②東西バス大型化 ③憩い空間整備事業 (2)民間資源の活用 ①EVバスによる「自動車レベル4」実証実験 ②駅前広場等企業・商店街との賑わい創出 (3)事務のアップデート ①子育てバリアフリーの推進			①高川歩道橋 令和7年度（2025年度）年7月契約予定②令和7年度（2025年度）年4月～③基本計画策定整備事業 令和7年度（2025年度）～令和8年度（2026年度） (2)民間資源の活用 ①コンソーシアム令和7年（2025年）7月、実証実験 令和7年（2025年）11月～②庄内駅東口 令和7年度（2025年度）～、服部天神駅前広場 令和8年度（2026年度）年3月 (3)事務のアップデート ・こども安心・送迎ルート 北緑丘こども園バリアフリーシステム 令和7年度（2025年度）9月～ ・ma-zika バリアフリー化検討委員会 令和7年度（2025年度）8月～		
	総合計画					
基本政策						
	33	快適な移動空間の充実		63	財務基盤の強化	
11	変革への取組み			(4)部内での取組み		
	(4)部内PTでの取組み ①未来の公共交通と道路環境づくり ②人中心のみちづくり			①EVバス実証実験に合わせて実施 令和7年度（2025年度）年7月～ ②東西軸（曽根再整備）・千里中央再整備に向け検討 令和7年度（2025年度）年4月～		
	総合計画					
基本政策						
	33	快適な移動空間の充実				